

# 政界再編論者 亀井静香の野望は潰えたのか

## なぜ格落ちの特別補佐官に?

自民党参院議員だった浜田和幸(離党)の一本釣りで暗躍した国民新党の亀井静香。74歳の策士は、菅に要請された副総理ポストを蹴り、特別補佐官という格落ちポストを引き受けた。この男、いったい何を考えているのか。



まだまだ……(27日)

「オレが何人か連れてく。院のボス・村上正邦に協るから、しっかりしろ」。力を要請し、参院自民の亀井は15日、公邸でサシ引き抜きに動いた。最終で会った菅にこう激励した菅が大幅改造を見送ったという。大幅改造を進めたことで、提示ポストら、自民からもっと来言する一方で、元自民参がなくなり、一本釣りは、ねじれを解消できた

「オレが何人か連れてく。院のボス・村上正邦に協るから、しっかりしろ」。力を要請し、参院自民の亀井は15日、公邸でサシ引き抜きに動いた。最終で会った菅にこう激励した菅が大幅改造を見送ったという。大幅改造を進めたことで、提示ポストら、自民からもっと来言する一方で、元自民参がなくなり、一本釣りは、ねじれを解消できた

い、思惑があつたのか。解消を狙った。自ら復興相に就任して超党派の実務をこなすことで、政界上正邦や石原慎太郎らと務をこなすことで、政界連絡を取りながら、自公も加えた救国内閣を目指していた。あわよくば自分分が総理に、という思いもあつたのではないか。ところが、菅の辞める詐欺で、野党は猛反発し、構想は頓挫した。そこで今度は、大幅改造をおわせて参院自民の切り崩しを画策し、ねじれ

い、思惑があつたのか。解消を狙った。自ら復興相に就任して超党派の実務をこなすことで、政界上正邦や石原慎太郎らと務をこなすことで、政界連絡を取りながら、自公も加えた救国内閣を目指していた。あわよくば自分分が総理に、という思いもあつたのではないか。ところが、菅の辞める詐欺で、野党は猛反発し、構想は頓挫した。そこで今度は、大幅改造をおわせて参院自民の切り崩しを画策し、ねじれ

だろう。最終的には民主かないが逆に仕事の枠もならも引き抜いてね」(政界関係者)

危険なおいを察知した菅が、大幅改造を見送ったことで、亀井の野望は潰えたかに見える。しかし、そこは老獪な政治家。まだあきらめては

「亀井氏が副総理を引き受けていたら、単なる菅記者団に語った。だから」といって、おとなしく従うわけではないのであ